



やまがたマーチング委員会

取材概要

日 時 : 2017年9月5日(火) 13:30~14:30

場 所 : 株式会社大風印刷 社長室
(山形市蔵王松ヶ丘1-2-6)

取材対象 : 大風代表、加藤様、渋谷様

2017年9月8日

マーチング委員会 広報



母体企業様の概要



本社入口の景観



2階 DTP室



大風社長（やまがたマーチング代表）

- ・やまがたマーチング委員会は山形市蔵王松ヶ丘 蔵王産業団地内の株式会社大風印刷内に事務局を置く。同社は昭和22年に創業。来年で70年目に入る。
- ・大風印刷様は
 - ・お客様の役に立ち 喜ばれ 感謝され 選ばれる会社。
 - ・お客様との信頼関係を保ち、誠意を持って短納期、高品質、多種少量のニーズに応えられる会社。
 - ・創意工夫をし印刷人としてともに喜びあえる特徴のある会社。

<http://www.okaze.co.jp/>



入会のきっかけについて教えてください。

平成21年にスタートした東北PF会の講演会の演題「東京湯島本郷 地域密着のデジタル印刷」、講師の利根川さんの説明を大風会長が聴講されたのが、きっかけとなった。

その後、仙台の孔栄社の佐藤社長の紹介もあり、平成25年にTONEGAWA社に出向き、利根川塾長の説明を受け、入会に至った。



大風社長（やまがたマーチング代表）

講演会

演題 「東京湯島本郷 地域密着のデジタル印刷」

講師 利根川印刷株式会社

代表取締役副社長 利根川 英二様

第1号議案 平成21年度事業報告並びに収支決算の承認について
(平成21年9月5日から平成22年7月31日まで)

1 事業報告

昨年9月5日、ホテルリッチフィールド仙台において、私たち東北6県の印刷関連業36社が、各社の持っている情報交換と親睦を目的に東北PF会を設立いたしました。

以下のような事業を実施しましたのでご報告いたします。

日時	事業	場所	内容	出席者
21.9.5	設立総会	ホテルリッチフィールド仙台	規約の決定、事業計画、収支予算、役員選出等	26社
22.1.16	講演会	仙台ガーデンパレス	・演題 「ライセンスをはじめとする環境調和型インキについて」 講師 東洋インキ製造(株) グラフィックソリューションセンター 船井 功様 ・演題 「現状のユニバーサルデザインについて」 講師 DICグラフィック(株) 東北営業部 部長 松尾 信二様	28社
22.1.16	新年交歓会	〃	会員の親睦と交流	28社

また、オピサン(株)主催の「バリューボックスアカデミー」を後援し、広く会員に呼び掛けをいたしました。

浪漫山形百景の展開について教えてください。

最初にイラストを描いたのは、山形市立第一小学校でした。

⇒

その後、2年間で月に1点ずつ制作して、20点まで揃えられた。

次ステップとして、山形新聞社様とのコラボ展開が始まり、1.5年で40点のコラボイラストが揃い、現在では合計60点まで揃った。

画家さんは、水彩画のタッチの素晴らしい、上野啓太さんをお願いしております。



やまがたマーチングの体制

大風社長を中心に、若さあふれる営業の両エースの加藤様と渋谷様が活躍されています！



加藤 憲二様



大風社長



渋谷 一彰様



主な活動



展示場所	展示期間	内容
山形銀行本店 ロビー	2016年3月7日～18日	展示のみ
山形商工会議所 ロビー	2016年2月1日～12日	展示のみ
山形銀行東山形支店 ロビー	2016年1月12日～29日	展示のみ
荘内銀行山形本店 ロビー	2015年12月8日～2016年1月7日	展示のみ
自社内覧会	2015年11月19日	展示のみ



出典：2017.4.18 アカデミー塾in東北で使用する資料抜粋

成功事例1

山形新聞社様 創刊140周年記念企画「やまがたふるさと絵はがき」

当社クライアントである山形新聞社が2016年9月に創刊140周年を迎えるにあたり、創刊140周年記念事業の1つに新聞の全購読者(18万戸)へのプレゼントを企画しているという話を販売局の担当者からお聞きしたので、自主的に提案を行いました。

公募ではなく、18万個に対応できる印刷関連会社、企画会社等が企画を持ち込む形でした。

2015年8月頃に初案(クリアケース+のし袋)を提案したが不採用。

次に、ライオンと共同で個別包装の液体洗剤を提案したが、これも不採用。

ここで、販売局の担当者から、「他社でもできるものではなく、

大風印刷ならではのものを提案いただきたい」という話がありました。

そこで、マーチング活動で作成していた、まちなみのイラストを使ったポストカードを提案したところ、販売局内で好評をいただき、2015年末に山形新聞社社長の最終決定となりました。



創刊140周年記念企画「やまがたふるさと絵はがき」 <企画の対する購読者の反応>

2月11日付の山形新聞朝刊で、創刊140周年企画について、プレスリリースを行いました。
これまでは、新聞購読料の値上げや夕刊の廃止などに対する批判の電話が多く1日50件ほどでしたが、
祝日にもかかわらず、1日180件ほど、翌日も40件を超える問い合わせがありました。
お礼のお手紙も届くなど、山形新聞社始まって以来の快挙となりました。



全読者に絵はがきプレゼント

山形新聞は創刊140周年を記念し、2月から県内全市町村の街並みや風景を題材にした絵はがきを販売店を通じて読者全員にお届けする企画を実施します。2月は文庫館（山形市）川折屋敷の朝市（大蔵村）明鏡湖と方ヌーランド（岡田町）の3枚で、来月から毎月2枚の計、計40枚をプレゼントします。日頃の購読に感謝し、山形新聞が大切にしている郷土・地域を伝えていきます。手元に置いて家族で楽しんだり、知人に送って山形の魅力をアピールして欲しい。画はイラストレーター・ふさぎを制作して知られる上野啓史氏のオリジナル作品です。問い合わせは山形新聞社販売局（0120-818040）午前9時〜午後5時

山形新聞社

山形新聞 2016.02.11

足解消した
形市 小原ヒサ

読者は先生に、贈りながら生きてもいい、今になって心足からたふさふ、う急な坂道におる。

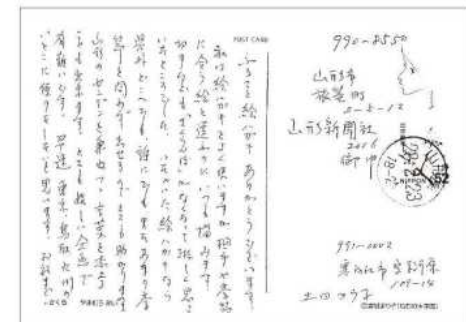
だが幸いにも山刊140周年記念さと画家として知野啓太氏が描いた町村の街並みや風景を、来年5月系プレゼントするようで、とても楽しみです。

早速第1回目の文庫館の絵はがきを千葉に嫁いだ友人に送ったところ、懐かしがつてくれた。5月分の絵はがきは、離れ住む孫娘に

山形新聞創刊140周年企画
絵はがきプレゼントが好評

山形新聞の創刊140周年企画「やまがたふるさと絵はがき」が、読者から大変好評です。2月11日付の朝刊で、この企画についてプレスリリースを行いました。これまでは、新聞購読料の値上げや夕刊の廃止などに対する批判の電話が多く1日50件ほどでしたが、祝日にもかかわらず、1日180件ほど、翌日も40件を超える問い合わせがありました。お礼のお手紙も届くなど、山形新聞社始まって以来の快挙となりました。

山形新聞社



購読者からの手紙

山形新聞社 その後の展開へ

<山形新聞社の旧・新社屋イラストを140周年記念のお祝いに寄贈>

「やまがたふるさと絵はがき」がとても好評で、山形新聞社内でも話題となっているため、山形新聞社の旧・新社屋のイラストを描き、創刊140周年記念のお祝いとして寄贈しました。また、第69回新聞大会が山形市で開催されるので、その印刷物に利用していただきたいです。



山形新聞社販売局担当者と上野氏



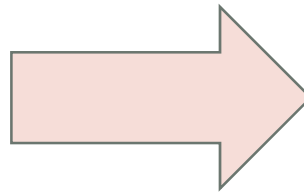
イラスト寄贈の様子

山形新聞社 その後の展開へ

<旧・新社屋のイラストを使用したオリジナルラベルの赤・白ワイン採用>

販売店・販売所が一堂に会した創刊140周年記念イベントの記念品として
創刊140周年記念のお祝いとして寄贈した、山形新聞社の旧・新社屋のイラストを使用した
オリジナルラベルの赤・白ワインが採用され、出席した販売店・販売所の皆さんに贈られました。

記念品を受け取った方から、レンガ色の旧社屋が懐かしく、
とても良い贈り物をいただいたとお褒めの言葉をいただいたそうです。



2017年2月に酒販
免許取得され、酒の
販売をスタート！



成功事例2

山形商工会議所様 創立120周年記念「商工月報」

当社クライアントである山形商工会議所が創立120周年を迎えるにあたり
毎月発行している商工月報の表紙について、これまでにないものを考えているという話を
担当者からお聞きしたので、山形まちなみ百景のイラストを使用した表紙を提案しました。

2016年2月1日～12日に山形商工会議所ロビーにおいて
山形まちなみ百景のイラスト展を行っており
多くの方にイラストについて知っていただいていたため、
またたく間に採用のお返事をいただきました。

山形商工会議所は今年10月21日に創立120周年記念式典・コンサートと祝賀会を開催します。
今回、商工月報に使用したまちなみ百景のイラストを使用、または描き下ろしたものを
記念式典・祝賀会の記念品として山形商工会議所の会員である3つの酒蔵とマッチングした
オリジナル日本酒を提案しているところです。

